

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>オーディナンス・シーフォー</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.480</b>	ΔRG <b>0.042</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：オーディナンス・シーフォー**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

番

**比較対照ボール：オーディナンス・パール**

フレアーの幅  インチ

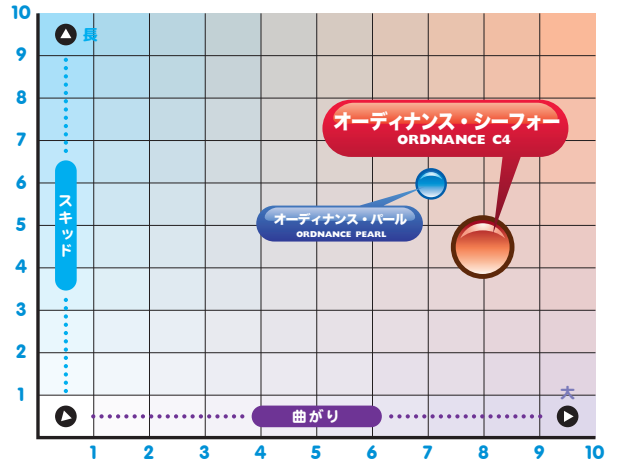
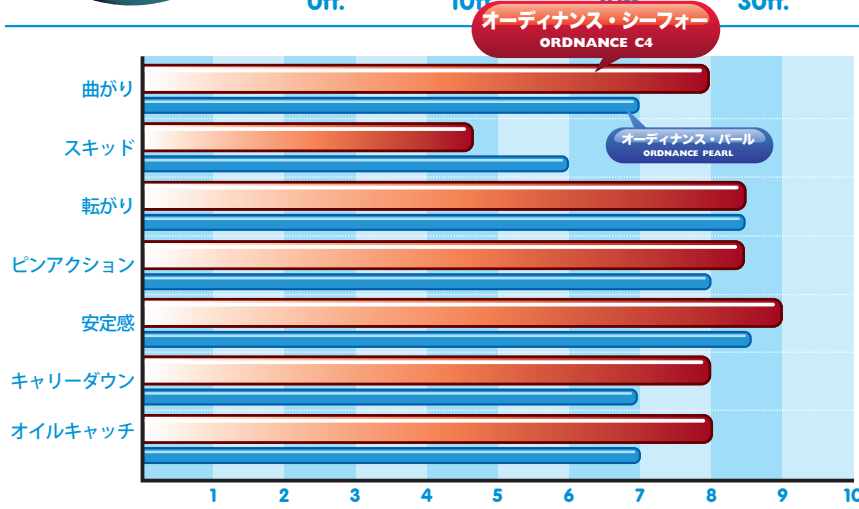
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

2019年に発売されたORDNANCE Pearlは以前900Globalで爆発的な人気を誇ったDRIFTの後継であり、コアもDRIFTと同じProjectile Symmetricを採用し発売されました。今回のORDNANCE C4はORDNANCE Pearlとカバー領域は同じS70カバーストックですが、Hybrid素材への変更と4000Abralon加工、コアは現行のProjectile Symmetricから新たにShrapnel 2.0 Symmetricコアへと変更され、Tour Preferred 700 Seriesの領域に位置づけられました。

前回のORDNANCE Pearlはサンアントニオ工場、工場移設に伴い今回のORDNANCE C4はユタ工場製です。これからすべての900Global社製品はユタ工場で生産されるため、同じS70カバーストックでの比較もこれからは同じ工場内での比較に変わりますが、すべての製品がユタ工場製に変わるにはもう少し期間が必要と思われます。

さて今回のORDNANCE PearlはS70領域のHybridですが、4000Abralon加工であるためにS70領域よりはキャッチを感じます。当然ポリッシュ加工すればS74領域よりは走りますが、4000Abralon加工によりややキャッチが出ている仕上がりです。リアクションイメージは中間のΔRG数値のとおり細かい軸移動で、大きく奥でネジれるイメージというよりは細かく軸移動する性能だと感じました。ポリッシュ状態よりも箱出しの4000Abralon加工ぐらいが一番曲がり具合とリアクションが落ち着いて、コントロールのしやすさとポケットへの角度が見いだせます。やはり欧米ではやや弱目のカバーでも標準で表面の曇ったボールが当たり前発売されます。日本ではやや敬遠されがちですが、カバーの性能が今をもってしても進化を続けていること。またそれに伴いオイルが増量されていること。また以前とくらべスポーツコンディションが浸透し、採用される機会が増えてきているなど様々な要因がこのような性能を生み出しているのだと思います。

### 特記事項

**やや弱めのS70カバーの4000Abralon加工。割れてラインが見えるとき、ややオイルのある所からないところへのアジャストがポリッシュボールより軌道が数段落ち着きます。**